

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
105-102	中学校	美術	美術	第1学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
9 開隆堂	美術 009-72	美術 1		

1. 編修の基本方針

令和7年度用美術科教科書の編修については、教育基本法「第一章 教育の目的及び理念」を全体の枠組みにするとともに、同「第二章 教育の実施に関する基本」及び学校教育法「第二章 義務教育 第二十一条」に掲げる目標を編修の基本方針として次のような項目を設定しました。

(1) 生徒の興味・関心を高める魅力ある普通教育として必要な題材の開発

教育基本法「第二章 教育の実施に関する基本（義務教育）第五条2」が示す、「義務教育として行われる普通教育は、各個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基礎を培い、また、国家及び社会の形成者として必要とされる基礎的な資質を養うことを目的として行われるものとする。」の主旨を基に、生徒の興味・関心を高める魅力ある普通教育として必要な美術科の題材開発を行いました。



40～43 ページ「イメージを伝える形」

(2) 美術や美術文化と豊かにかかわる資質・能力の育成

学校教育法「第二章 義務教育 第二十一条」の内、「九 生活を明るく豊かにする音楽、美術、文芸その他の芸術について基礎的な理解と技能を養うこと。」の目標達成を目指し、美術や美術文化と豊かにかかわる資質・能力を育成できる学習に配慮しました。



52・53 ページ「目を見張る楽しさ」

(3) 生徒たちが未来を切り拓くための資質・能力の育成

学校教育法「第三十条 2 生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力、その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うことに、特に意を用いなければならない。」の主旨を基に、生きて働く「知識・技能」、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の育成を目指して、多様な視点から教材を収集するとともに、この「三つの柱」によって題材を構造化し、整理しました。



20・21 ページ「木版画の面白さ」

(4) 生活や社会の中の優れた美術や美術文化の多様な掲載

教育基本法「第一章 教育の目的及び理念（教育の目標）第二条五」が示す「伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。」を、学校教育において直接的に担当する中学校美術科の教科書として、生活を明るく豊かにする日本及び諸外国の美術や美術文化を多種多様に取り上げるとともに、より身近な視点から美術や美術文化について学ぶことができるようにしました。



16・17 ページ「その人らしさが大切」



22・23 ページ「生き生きとした姿を表す」

(5) インクルーシブ教育及び GIGA スクール、SDGs 等、今日的な課題への対応

教育基本法「第一章 教育の目的及び理念」が示す「教育の機会均等」、同「第二章 教育の実施に関する基本」が示す「義務教育」「学校教育」の理念、また、学校教育法「第三十四条」の教科用図書に関する規定に従い、特別支援教育やインクルーシブ教育、カラーユニバーサルデザインなどに対応するとともに、カリキュラム・マネジメントに配慮したウェブサイトによる多様な映像資料等の提示などを工夫し、SDGs 等今日的な教育課題にも対応できる題材を多く掲載しました。

25 ページ
「生き生きとした姿を表す」



50 ページ「炎と共に生きる」

SDGs に関するコラムを
充実させました。



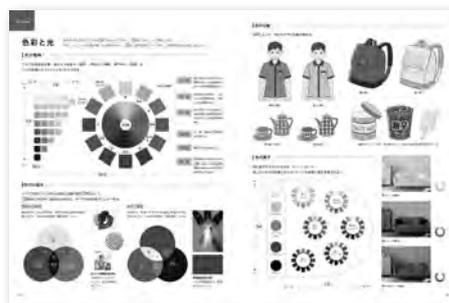
37 ページ「構成の美しさ」

(6) わかりやすい解説や資料の掲載と、生徒の主体的な学習活動の提示

教育基本法の理念や学校教育法の主旨を基にした多様な題材を通した学習活動をより効果的にするために、わかりやすい解説や基礎的な学習の方法、多彩な資料などを手厚く配置し、幅広い知識と教養を身に付け、豊かな情操が培えることを期すとともに、主体的・対話的で深い学びが保障できるよう配慮しました。



54・55 ページ「使える知識 広がる美術」



64・65 ページ「色彩と光」

2. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

① 小学校図画工作科から、中学校美術科の学習への関連と発展についてのわかりやすい提示

小学校図画工作科の学習と中学校美術科での学習の関連と発展性についてわかりやすく提示するページを設定し、生徒が美術科の学習への意欲を自ら高めることができるようにしました。



2～5 ページ「図画工作から美術へ」

② 教科書の使い方を示すアイコンや学習の案内役のキャラクターを設定

教科書の使い方を示すアイコンによって、各ページのどこにどのような学びのポイントがあるかをわかりやすく示すとともに、学習の案内役を務めるキャラクターを設定することで、生徒の学習を効率よく展開できるようにしました。

6・7 ページ
目次
教科書の使い方



③ 「絵や彫刻などに表現する活動」と「デザインや工芸などに表現する活動」、「鑑賞の活動」の明確な提示

それぞれの学習活動の題材ページの入り口に「自分の思いを表そう」、「つくることでつながる」と題する扉のページを置き、各学習活動の意味や目的を考えることができるようにするとともに、目次には、題材名とページ番号に加えて活動内容を色分けして示し、各題材ページのタイトルにも学習活動が明確にわかるようにサインで示しました。



8・9 ページ「自分の思いを表そう」



3 34・35 ページ「つくることでつながる」



6 ページ「目次」

④ 鑑賞学習の充実のための大型図版の掲載

鑑賞の学習を重視し、折り込みページの活用や大型図版の掲載によって、鑑賞学習の充実を図り、鑑賞学習への興味・関心を高めるように工夫しました。



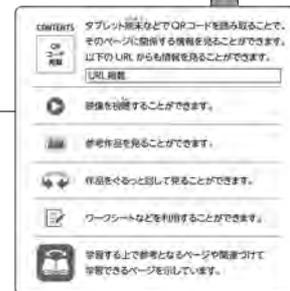
26～33ページ
「江戸の美術の面白さ」



60・61ページ「鑑賞ってなんだろう」

⑤ QRコードなどを用いたわかりやすく多彩な解説や資料の掲載及び提示

全ページにわたってわかりやすい解説の充実を図り、関連する資料などを適宜配置しました。また、必要に応じてQRコードを提示し、ウェブサイトによって学習の参考となる映像資料などを提供し、学習の広がりを目指すとともに、生徒が自主的に学習できるよう配慮しました。



7ページ「教科書の使い方」



14ページ
「その人らしさが大切」

⑥ 地域の文化財や美術館及び人材の積極的活用

学校外の文化財や組織、人材の活用は、美術科においてはその社会性からも重要事項であり、それらを促す題材を設定しました。



44・45ページ「ずっと木といっしょに」

48ページ「炎と共に生きる」



60・61ページ「美術館へ行こう」

⑦ 学習の効率化や深まり、広がりを目指す「学びの資料」の充実

各題材の「知識及び技能」の学習に必要な内容及び〔共通事項〕に示された「知識」の具体的な事項などを集約し、効率よく学習に取り組めるように内容を一層充実させました。



56ページ「文字のデザイン」
57ページ「著作権を知ろう」

3. 対照表 (教育基本法との対照表) 1年

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
		ページ番号
全題材	本教科書の全題材、全ページにわたり、美術を通して、教育基本法第二条（教育の目標）第一号に謳われている「幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。」が達成できると考えています。（第一号）	全ページ
図画工作から美術へ	自分らしさや個性が発揮できるような題材設定を行いました。また、自己肯定感を高め、第二号に謳われている「個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。」が達成できる題材を多く取り上げています。（第二号）	2-5
自分の思いを表そう		8・9
スケッチブックから広がる		10-13
その人らしさが大切		14-17
形と色彩の響き合い		18・19
木版画の面白さ		20・21
生き生きとした姿を表す		22-25
江戸の美術の面白さ		26-33
つくることにつながる		34・35
構成の美しさ		36-39
イメージを伝える形		40-43
ずっと木といっしょに		44-47
炎と共に生きる		48-51
その人らしさが大切	制作において友人と協力して活動したり、話し合ったりして制作・表現していくことは、互いの考えを主張したり、調整したりすることが必要になります。「正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。」に直結する題材の設定をしています。（第三号）	14-17
生き生きとした姿を表す		22-25
イメージを伝える形		40-43
ずっと木といっしょに		44-47
炎と共に生きる		48-51
発想・構想のヒント	58-59	
スケッチブックから広がる	自然の草花や風景を描いたり、動物や身近な生き物をつくったりする題材を多く設定しています。また、デザインや工芸の分野では、環境に寄与する態度を養えるような題材も設定しています。第四号で謳われている「生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。」を達成できると考えています。（第四号）	10-13
その人らしさが大切		14-17
形と色彩の響き合い		18・19
木版画の面白さ		20・21
生き生きとした姿を表す		22-25
江戸の美術の面白さ		26-33
つくることにつながる		34・35
構成の美しさ		36-39
イメージを伝える形		40-43
ずっと木といっしょに		44-47
炎と共に生きる		48-51
目を見張る楽しさ	52・53	
図画工作から美術へ	日本及び外国の多くの美術作品を紹介しつつ、日本の伝統文化については大きく取り上げる題材を設定しています。第五号で謳われている「伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。」にふさわしい題材や作品を取り上げています。（第五号）	2-5
スケッチブックから広がる		10-13
その人らしさが大切		14-17
形と色彩の響き合い		18・19
木版画の面白さ		20・21
生き生きとした姿を表す		22-25
江戸の美術の面白さ		26-33
構成の美しさ		36-39
イメージを伝える形		40-43
ずっと木といっしょに		44-47
炎と共に生きる		48-51
目を見張る楽しさ		52・53
鑑賞ってなんだろう		60・61
美術館へ行こう		62・63

編修趣意書

(学習指導要領との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
105-102	中学校	美術	美術	第1学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
9 開隆堂	美術 009-72	美術 1		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

学習指導要領が示す美術科の目標を踏まえ、中学校段階での造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かにかかわる資質・能力を育成できるよう、小学校図画工作科での学習経験をもとに、第2学年及び第3学年への学習の発展を考え、系統的学習を重視した題材による構成を目指して以下のポイントに意を用いて編修しました。

POINT 1 美術科において育成すべき資質・能力が明確な教科書

学習指導要領が示す教育課程全体を通して育成を目指す資質・能力である生きて働く「知識・技能」、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」が、美術科の学習を通してより効果的に学べるよう題材の整理や構成を下記のように工夫しました。

○知識及び技能の理解と工夫

各題材の「学習の目標」に「知識や技能に関する目標」を提示するとともに、各題材のどの学習活動が「知識及び技能」と関連するか記号を用いて表示しました。また、必要に応じて「美術の用語」を提示し、知識の理解を支援するとともに、巻末の「学びの資料」では技能の工夫に役立つ情報を系統的に掲載し、QRコードによって映像資料としても知識や技能の学習教材を提示しています。

52 ページ「目を見張る楽しさ」

「美術の用語」では、美術に関する用語などを解説しています。

41 ページ「イメージを伝える形」

10、12 ページ「スケッチブックから広がる」

69・70 ページ「用具を知って使ってみよう」

QRコード

知識・技能 形や色彩などの性質を正しく理解し、見通しをもって、工夫して表現します。

美術の用語 アール・ヌーヴォー フランス語で「新しい芸術」を意味する表現様式である。ヨーロッパで19世紀末に流行し、建築やデザイン、工芸の分野で、花や虫などのモチーフや曲線を多用した装飾が多く見られる。

ロゴタイプ 図案化・装飾化された文字列のこと。

シンボルマーク 象徴的な図や記号で表したものを。

ロゴマーク ロゴタイプとシンボルマークを組み合わせたものを。

知識や技能に関する目標。さまざまな美術に関する知識を理解し、工夫して表現しましょう。

学びの資料

○思考力、判断力、表現力等の育成

各題材の「学習の目標」に「発想や構想に関する目標」を提示するとともに、各題材のどの学習活動が「思考力・判断力・表現力等」と関連するか記号を用いて表示しました。また、必要に応じて「思考・判断・表現」の学習を深めるための「発想・構想」の方法や「鑑賞」の学習の進め方のヒントやポイントを、キャラクターの吹き出し等を用いてわかりやすく示しています。

思考 思考力・判断力・表現力に関する目標。発想や構想の力を身につけるとともに、鑑賞によって見方や感じ方を広げましょう。

発想・構想 何のために、何を、どのように表すのか考え、主題を生み出す力を身につけます。

41 ページ
「イメージを伝える形」

伝わりやすくするために、イメージを強調して表そう。



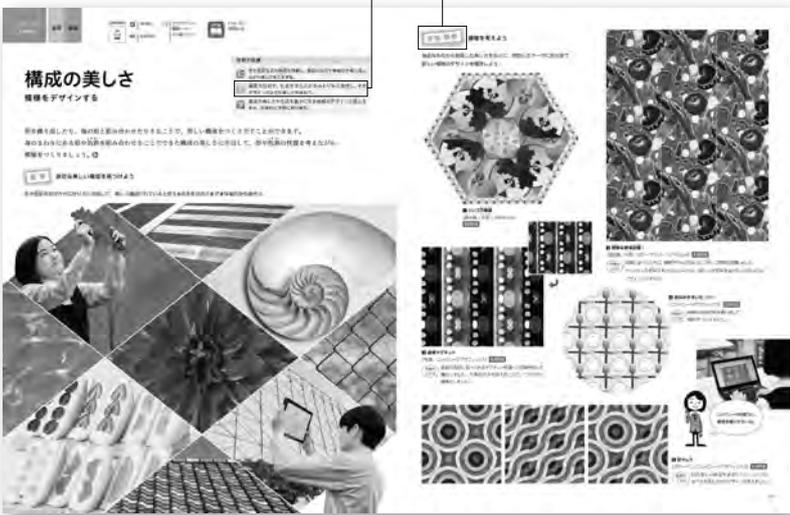
キャラクターの吹き出しなどで示しています。

17 ページ
「その人らしさが大切」

描かれている人の気持ちを想像しながら見ると楽しいね。



36・37 ページ
「構成の美しさ」



○学びに向かう力、人間性等の涵養

各題材の「学習の目標」に「学びに向かう力、人間性等に関する目標」を提示しています。また、「自分の思いを表そう」と題する学習指導要領「2 内容 A 表現 (1) ア」に示す「絵や彫刻に表現する活動」の学習の意味や目的を考えるページとともに、「つくることでつながる」と題する同「2 内容 A 表現 (1) イ」に示す「デザインや工芸などに表現する活動」の学習の意味や目的を考えるページを各領域の最初に掲載し、学習への意欲を高めるようにしました。さらに、必要に応じて「作者の言葉」を取り上げることによって、作品への興味・関心を高め、作者の人となりや思いを学ぶことができるようにしました。

学 学びに向かう力に関する目標。つくりだす喜びを味わい、楽しく主体的に学習しましょう。

8・9 ページ
「自分の思いを表そう」

自分の思いを表そう



その人らしさが大切
人物の特徴をとらえて絵に表す

あなたのおまわりにいる身近な人たちの姿を絵に表しましょう。しごきや表情の中から「その人らしさ」を見つけ、表すことによって、これまで気づかなかった魅力が発見することになるかもしれません。観察して正確に描くだけでなく、自分の感じたその人らしさを表すことができます。色紙や画紙などを工夫して表しましょう。

学習の目標

- ① 身近な人の特徴や個性を捉え、自分の特徴や表現方法を考える。
- ② 身近な人の人柄や個性を捉え、個性を表現するために、適切な表現方法を考える。
- ③ 身近な人の表情や動作、人柄や個性を捉えて、絵に表現する。
- ④ 身近な人の個性や特徴を捉え、個性を表現する。

学習活動

① 観察・観察 身近な人の特徴や個性を捉え、自分の特徴や表現方法を考える。

② 観察・観察 身近な人の人柄や個性を捉え、個性を表現するために、適切な表現方法を考える。

③ 観察・観察 身近な人の表情や動作、人柄や個性を捉えて、絵に表現する。

④ 観察・観察 身近な人の個性や特徴を捉え、個性を表現する。



34・35 ページ
「つくることでつながる」

つくることでつながる



23 ページ
「生き生きとした姿を表す」



14 ページ
「その人らしさが大切」

「作者の言葉」は作品への興味・関心を高め、作者の人となりを学べます。

POINT 2 「主体的・対話的で深い学び」及び「造形的な見方・考え方」を基本にした教科書

学習指導要領「第3 指導計画の作成と内容の取扱い 1 (1)」に示される「主体的・対話的で深い学び」の実現に対応するために、教科書をきっかけとして、生徒が主体的に先生や生徒などと検討したり議論したりして、主体的に自分の考えを広げたり深めたりすることができるような文章や紙面構成を大切にしました。

また、同じく学習指導要領「第3 指導計画の作成」と内容の取扱い 1 (1)」に示される「造形的な見方・考え方」を十分に働かせ、美術科の学びの特質である感性や、想像力を働かせ、対象や事象を造形的な視点で捉え、自分としての意味や価値をつくりだすことができるよう、生徒の興味・関心を高め、生きる力の基礎を培うことができるような魅力的な題材の開発に配慮しました。



18・19 ページ
「形と色彩の響き合い」

44・45 ページ
「ずっと木とっしょに」

POINT 3 表現と鑑賞の関連と題材の系統性を重視する教科書

学習指導要領「第3 指導計画の作成と内容の取扱い 1 (2)」が示す「A 表現」及び「B 鑑賞」の学習の関連を重視し学習の広がりや深まりにおいて配慮するとともに、発想や構想に関連する資質・能力と鑑賞に関する資質・能力を総合的に働かせることのできる題材の開発に配慮しました。また、第1学年の学習から、第2学年及び第3学年の学習へ展開する系統性を考慮することによってさらなる学習の深まりを図りました。



10～13 ページ「スケッチブックから広がる」

美術 2・3 10～13 ページ「私が見つけた風景」

POINT 4 (共通事項) に対応した資料ページが充実した教科書

学習指導要領「第3 指導計画の作成と内容の取扱い 2 (1) ア、イ」が示す〔共通事項〕の各事項については、各題材ページに「知識」及び「美術の用語」としての表示で示すとともに、巻末の資料ページを充実させ、全体のイメージや作風などに着目し、実感的な理解が可能になるよう多岐にわたる内容をわかりやすく整理して掲載しました。併せて、資料ページでは表現のための技法理解及び鑑賞材料など、多岐にわたる内容を取り上げました。



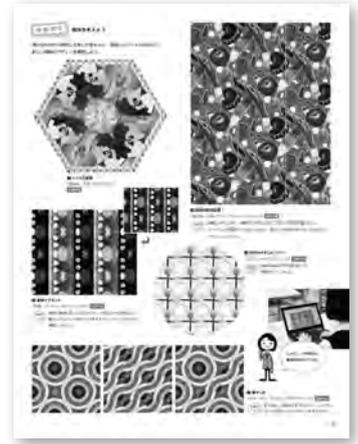
60・61 ページ「鑑賞ってなんだろう」

58・59 ページ「発想・構想のヒント」

POINT 5 「A表現」における創意工夫を大切にする教科書

37 ページ「構成の美しさ」

学習指導要領「第3 指導計画の作成と内容の取扱い 2 (2)、(3)」が示す生徒の学習経験や資質・能力、発達の特質を踏まえ、表現意図を基に創意工夫して表現することを保障する題材を数多く掲載し、また、生徒が創意工夫しやすくなるように紙面構成を工夫しました。



12 ページ
「スケッチブックから広がる」

POINT 6 「B鑑賞」における教材の扱い及び美術館等との連携を重視する教科書

学習指導要領「第3 指導計画の作成と内容の取扱い 2 (6)」に示す鑑賞の学習のための教材の使いについては、国内外の生徒作品の鑑賞を「A表現」における題材において多種多様に取り上げるとともに、日本の文化遺産を鑑賞するための題材を多方面から掲載しています。また、美術館や博物館の活用について学びの資料を提供するページを設定し、生徒が主体的に美術館等を活用できるようにしました。

21 ページ
「木版画の面白さ」

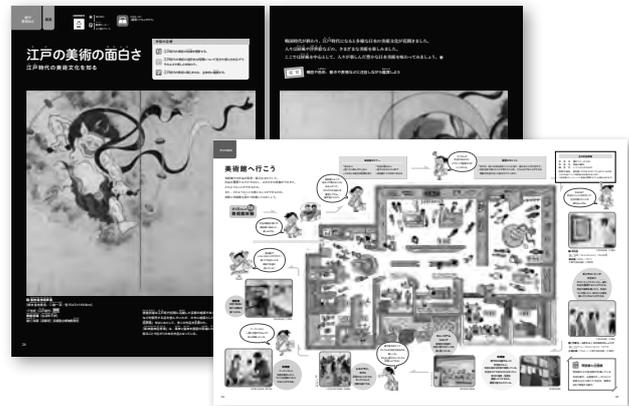


国外の生徒作品を示しています。

25 ページ
「生き生きとした姿を表す」



26・27 ページ「江戸の美術の面白さ」



62・63 ページ「美術館へ行こう」

POINT 7 著作権や肖像権についての理解を尊重する教科書

学習指導要領「第3 指導計画の作成と内容の取扱い 2 (7)」に示す著作権についての指導は、創造性を尊重する態度の形成を図り、具体的に著作権や肖像権を学ぶ資料を掲載しました。

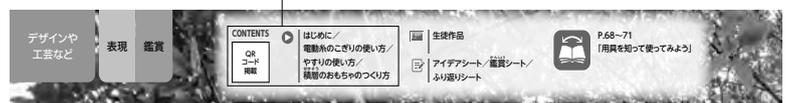
57 ページ「著作権を知ろう」



POINT 8 安全指導の徹底を図る教科書

学習指導要領「第3 指導計画の作成と内容の取扱い 3」に示す事故防止についての指導は、道具などの安全な使い方について、必要な題材ページにQRコードによる映像資料によって具体的に学ぶことができるようにしました。

QRコードによる映像資料によって学ぶことができます。



44 ページ「ずっと木といっしょに」

2. 対照表（学習指導要領との対照表）1年

図書の構成・内容	学習指導要領の内容												内容の取扱い		該当箇所 (ページ番号)
	A 表現						B 鑑賞				共通事項				
	[思考力、判断力、表現力等]				[技能]		[思考力、判断力、表現力等]				[知識]		(1)	(2)	
	(1)				(2)		(1)				(1)				
	ア (ア)	イ (ア) (イ) (ウ)			ア (ア) (イ)		ア (ア) (イ)		イ (ア) (イ)		ア	イ			
図画工作から美術へ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2-5
自分の思いを表そう	○				○	○	○	○		○	○	○	○	○	8・9
スケッチブックから広がる	○				○	○	○	○		○	○	○	○	○	10-13
その人らしさが大切	○				○	○	○	○		○	○	○	○	○	14-17
形と色彩の響き合い	○				○	○	○	○		○	○	○	○	○	18・19
木版画の面白さ	○				○	○	○	○		○	○	○	○	○	20・21
生き生きとした姿を表す	○				○	○	○	○		○	○	○	○	○	22-25
江戸の美術の面白さ	○						○	○	○	○	○	○	○	○	26-33
つくることでつながる		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	34・35
構成の美しさ		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	36-39
イメージを伝える形		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	40-43
ずっと木といっしょに		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	44-47
炎と共に生きる		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	48-51
目を見張る楽しさ		○					○	○	○	○	○	○	○	○	52・53
使える知識 広がる美術											○	○	○	○	54・55
文字のデザイン		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	56
著作権を知ろう											○	○	○	○	57
発想・構想のヒント		○	○	○	○	○					○	○	○	○	58-59
鑑賞ってなんだろう							○	○	○	○	○	○	○	○	60-61
美術館へ行こう	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	62・63
色彩と光		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	64-67
用具を知って使ってみよう		○	○	○	○	○					○	○	○	○	68-71